

たより



**ご利用ください
(研究所に新しく入った書籍を紹介します)**

「とっておきの道徳授業」シリーズ

8月22日(金)に、道徳の授業づくりについてご講演いただいた佐藤幸司先生の著書です。佐藤先生は、山形県宮浦小学校の先生であり、「道徳のチカラ」の代表も務めてみえます。

研修講座では、佐藤先生が実践された道徳授業について、具体的に紹介していただきながら、「子どもの心を育てる道徳授業のつくり方 ～教科化に答える本物の道徳授業～」として、道徳の授業に対する先生の思いや授業づくりのコツ等をお話いただきました。



研修講座でご紹介いただいた授業実践「ひとりじゃ元気になれない」、「2020年へ」、「涙そうそう」も収められています。

そのまま使える資料や学習プリントの内容を掲載したページ、具体的な発問、授業時の子どもの反応等も掲載されています。中学校編「とっておきの道徳授業11」には、授業で使えるパワーポイントデータも収録されています。道徳の授業づくりのヒントとして、お役立てください。教育研究所では、書籍の他、教育雑誌も置いていますので、ご利用ください。

※貸し出し期間は、2週間程度です。窓口で、又は電話にてお申し込みください。



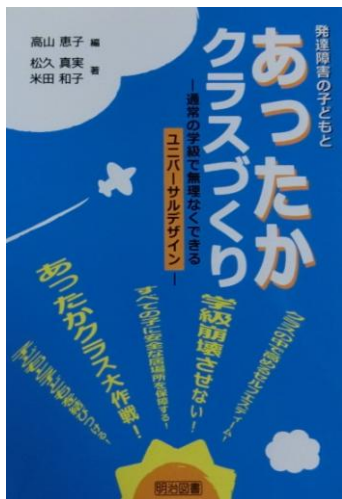
佐藤幸司先生の授業では、よく音楽が使われます

- ◆今を生きる子どもたちに、教師でしかできない授業づくりに取り組んでいきたいと思えます。
- ◆人の温かさ・世の中の素晴らしさにたくさん出会わせましょう。そうすれば、きっと子どもたちは、素敵な生き方ができる人になっていくはずですよ。
- ◆今、子どもたちに伝えたい出来事があります。今、子どもたちに考えさせなければならない問題があります。そして今だからこそ、子どもたちにしっかりと心に刻んでほしいことがあります。・・・

【とっておきの道徳授業12】より

発達障害の子どもと あったかクラスづくり

—通常の学級で無理なくできるユニバーサルデザイン—



8月8日（金）に、「あったかクラスづくり Part2」としてご講演いただいたプール学院大学講師 松久眞実先生の著書です。

松久先生の講演は、具体的で分かりやすく、元気になると、参加していただいた方に、今年も大変満足していただきました。

講演では、ADHD、アスペルガー症候群、自閉症スペクトラムの子どもたちの特性や向き合い方を、個々の事例を基に分かりやすく話していただきました。

また、広い視野で全体の子どもたちを見守っていくことが「あったかい子どもたち」のつながりをつくっていくということをご自身の実践を基に話されました。

先生は、「細かいことを見逃すと、後で大変なことになるという強迫観念を捨てて、肩の力を抜いて笑いながら、大目に見る余裕も必要。その余裕とおおらかさが、どの子も安心してすごせるクラスをつくる。」と話されました。

ユーモアを交えての、臨場感たっぷりの話し方が大人気の松久先生。先生が紹介される取り組みは、明日から自分もやってみようと思える取り組みです。ぜひ、夏の講演を思い出しながらお読みください。

あったかクラス大作戦

講演で聞かせていただいた取り組み紹介～本にも掲載されています～

- ◎好意に満ちた語りかけ（子どもを信じ温かい言葉をかけること）
- ◎「いがいが言葉」と「ほんわか言葉」
- ◎「サイレントモード」と「ひそひそモード」
- ◎子どもに効く！ 叱るのはあっさり、行動はしつこく
- ◎子どもを動かす指示の出し方 分かる指示
- ◎クラスが一つにまとまる記念日遊び
- ◎叱り方の3段階「森レベル」「林レベル」「木レベル」
- ◎クールダウンには、その子の特性をうまく利用して・・・



研修講座参加者アンケートから



- ◆「元気・納得・実感」ができることの幸せを感じました。分かっているようで、毎日の忙しさでできなかったことを、正していただきました。
- ◆大満足の研修講座でした。正しいことを再認識できた研修でした。松久先生ありがとうございました。
- ◆1学期の自分は、まさに松久先生が例に出される良くない教師の姿でした。悪い連鎖となっていました。2学期からがんばりたいです。

細水先生の講演動画をアップしました ご活用を！



今年も、筑波大学附属小学校の細水保宏先生の講座は大人気でした。先生のご了解をいただき、伊勢市教育研究所のイントラネットに、8月20日（水）の模擬授業及び講演の動画をアップしましたので、ぜひご覧ください。

講演のタイトルは、「算数のよさや美しさ、考える楽しさを味わわせる教材づくりのコツー『できる』『分かる』ではなく、『味わう』『楽しむ』で算数好きを増やすー」です。

また、今回は、「模擬授業をしながらの講演」という形式でお願いしました。参加者はいつの間にか、楽しい算数の授業にどっぷりとひたっていきました。そこには細水先生のお人柄、教材の魅力もありましたが、先生のようなテクニックを感じとれました。

細水先生の講演は、「先生の授業力を鍛えていきましょう。」という言葉ではじまりました。細水先生は、「授業の基本は、空気です。」とおっしゃいます。その空気をいかにつくるかが、大切なのです。模擬授業でも、すぐにその空気を、見事につくられました。

細水先生

リポビタン・・・

参加者

D！



細水先生

オロナ・・・

(細水先生が言い終わらないうちに) 参加者

C！

まずは、ユーモアたっぷりのやり取りをしながら、間違えても大丈夫だという安心感と、先生の問いかけに、みんなが反応する空気を作られました。そうして、こんな授業をしたいという価値観を伝えてみえるのです。注意による指導では、授業の空気が濁ります。「いいですよ」、「すごい」とほめることが、価値付けをすることになり、周りの子は「私もやらなきゃ」という気持ちになります。そこでもう一度、変わった子をほめてあげることが大事なのだと、先生は話されました。

また、子どもに意欲の生まれる目当て、見通しの立て方や、子どもと子どものつなげ方、授業の中で一回はほしい全員がしゃべり合っている瞬間など・・・楽しく魅力ある算数授業づくりのために必要なことを、大変分かりやすく教えていただきました。



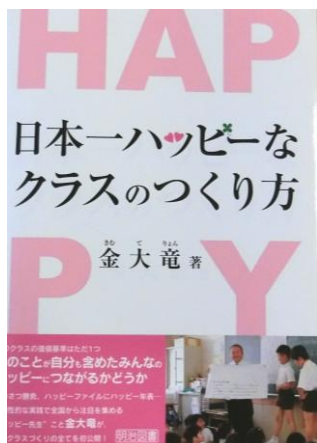
会場に、笑顔が
いっぱいあふれた
研修講座でした。

細水先生の模擬授業・講演のアンケートより



- ・いいですね。これが夏の研修会ですね。細水先生最高です。
- ・大人でもすごく楽しかった。こんな感覚を子どもにも味わわせたいです。
- ・昨年度も参加し、今年も！！と思って参加しました。子どもたちを目の前にするとうまくいかないことが多いのですが、10回に1回でも、5回に1回でも、学んだことを思い出して、活かせるようにしていきたいと思います。
- ・自分が実際に問題に取り組んでみることで、分かったことやひらめいたことがたくさんありました。とっても楽しい講座でした。
- ・授業での空気の作り方、気の集め方、基礎体力の付けさせ方等、具体的にお話いただき大変分かりやすかった。できない子への手立てについても学ぶところ大であったので、2学期以降の授業に是非活かしたい。
- ・すごくわかる講演でした。ぜひ明日からの実践に活かさせていただきます。
- ・講師一年目ということで、授業の組み立て方に戸惑いがありましたが、本当に目から鱗の内容でした。ありがとうございました。
- ・毎年参加させて頂いています。大ファンです。算数がというか、授業って本当に楽しいなと思えるお話がいつもうかがえて、元気が出ます。ありがとうございました。来年もよろしくお願いします。
- ・大変分かりやすくステキな講演でした。また来年も来ていただきたいです。
- ・算数を楽しく授業するっていうのは、先生自身が楽しいと思うことが大事だと、よく分かりました。また、子どもを目の前にした授業をお願いします！！
- ・いつもありがとうございます。授業の中身もそうですが、人間として学ぶところがたくさんあります。来年は師範授業が見たいです。

最近購入した本です



- ◆「授業づくりの教科書
社会科 授業の教科書5・6年」
有田 和正（著）さくら社
- ◆「授業づくりの教科書
社会科 授業の教科書3・4年」
有田 和正（著）さくら社
- ◆「日本一ハッピーなクラスの
作り方」
金大竜（著）明治図書